

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2018年3月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2018年3月7日～28日
- 調査対象 200社
- 回答企業 105社
- 回収率 52.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の3月の状況を見ると業況DIは、前月より4.8ポイント改善の▲15.2となった。

2017年9月以来7ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

業種別では、建設業、製造業、小売業の3業種において改善したが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほぼ横ばい。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲17.2、当月に比べ2.0ポイント悪化を見込んでいる。

業種別で見ると、卸売業、小売業で悪化が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2017年 10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	先行き見通し 2018年4月～6月
業況	▲6.9	▲14.7	▲6.7	▲11.3	▲20.0	▲15.2	▲17.2
売上	▲0.9	▲0.9	6.7	2.8	▲2.8	4.7	▲14.3
採算	▲10.4	▲13.8	▲7.7	▲17.8	▲20.0	▲12.4	▲16.2
仕入単価	▲31.3	▲39.5	▲33.3	▲41.1	▲41.8	▲41.9	▲38.1
従業員	34.8	32.1	35.2	30.8	22.7	29.5	34.3
資金繰り	▲3.5	▲11.0	▲2.9	▲5.6	▲10.9	▲11.4	▲7.6

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2017年 10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	先行き見通し 2018年4月～6月
建設	7.2	0.0	3.7	▲3.7	▲22.2	▲11.1	▲7.4
製造	▲4.2	▲4.4	0.0	▲7.4	▲21.8	▲16.0	▲16.0
卸売	▲8.3	▲13.6	▲13.1	▲19.0	▲20.0	▲22.7	▲31.8
小売	▲5.6	▲46.6	▲26.7	▲33.3	▲31.3	▲13.3	▲20.0
サービス	▲28.5	▲25.0	▲6.3	0.0	▲5.3	▲12.5	▲12.5

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・若手社員のモチベーション及びスキルアップの強化（設備その他） ・技術系職員不足（設備その他） ・工事再開と新規工事受給により4月以降従業員不足。ただし、新規工事の受給工事金額の上昇は見込めない分資金繰りが心配。（建築）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の動きも出始めてきた。当面は大型物件が続き忙しくなる。2020年問題まで残り2年とする今、作業の効率化、工程管理の強化、人材育成への注力を日々の作業の中でどれだけ進められるかが勝負となる。最低限のヒト・モノ・カネで改善を図るには今までどおりの考え方を脱却しなければ難しいと考える。（金属鉄工窯業他） ・平穏（金属鉄工窯業他） ・人手不足に尽きる。昨年の秋口そして今回3月に募集をかけたが、全く問合せもなしの状況。（金属鉄工窯業他）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・業況は前年度と同等の予想である（機械鋼材） ・昨年は、一昨年の台風災害復旧工事を多く受注できたが、今年の工事予定は少なく、雇用継続のための事業量確保が課題になる。（機械鋼材） ・旭川近郊での公共事業発注がなく、向こう3ヶ月の業況は厳しい状況と判断しております。（機械鋼材） ・3月の油の仕入価格は、僅かに下がったものの小幅にとどまり、今後も大きな変動はないと思われます。（その他・燃料）
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・3月は大学入学・新社会人のスーツの需要があったが、今年は来店するお客様のスーツ購入客が少なくなっているように感じる。大学・専門学校等の出費が多い時期のため購入金額を控え、セット販売のロープライス店にお客様が流れているように、売上が厳しい。（衣服身の回り品） ・設備投資（店舗リニューアル）費用（食料品） ・従業員の不足が続いています（その他・事務機販売）
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・道央方面のスキー場観光客増加により人手不足のため大変忙しい。ベトナム人を採用しているが、1年間の雇用しか認められておらず大変である。せめて3年の雇用を認めてほしい。（理美容クリーニング） ・3月は前年並み、4～6月も大きな売上変化はない見通しである。採算については人件費増（休日増のため）と、重油単価、食材仕入れは引き続き昨年より上昇しており、悪化するかも。（ホテル旅館） ・雇用の確保、賃金上昇。（ホテル旅館） ・技術者の不足と高齢化が進む中、待望の新卒者の入社が決まったことに安堵している。（その他・ソフトウェア業） ・仕入価格の上昇が続き、売上が上がっても利益が少ない。（飲食） ・個人消費が悪化。サービス業として今後大変である。（整備業） ・原油高（運送）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI11.1 ポイント改善、採算 DI7.4 ポイント改善、仕入単価 DI 横ばい、資金 DI3.7 ポイント悪化、従業員 DI26.0 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 11.1 ポイント改善となった。業種別では、建築で横ばい、総合工事 8 ポイント、設備・その他 20 ポイント改善となったが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほぼ横ばい。工事再開と新規工事受給により 4 月以降従業員不足。ただし新規工事の受給工事金額の上昇は見込めない分、資金繰りが心配との声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI28.7 ポイント改善、採算 DI22.1 ポイント改善、仕入単価 DI4.5 ポイント悪化、資金 DI3.3 ポイント悪化、従業員 DI1.4 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 5.8 ポイント改善となった。業種別では、印刷・出版 25 ポイント悪化、食料品、家具・木材で横ばい、金属窯業他 20 ポイント改善となった。人手不足につきる。昨年秋口そして今回 3 月に募集をかけたが、全く問合せもなしの状況との声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI8.0 ポイント悪化、採算 DI2.2 ポイント悪化、仕入単価 DI0.9 ポイント悪化、資金 DI11.6 ポイント悪化、従業員 DI6.2 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 2.7 ポイント悪化となった。業種別では、機械鋼材 33 ポイント改善、繊維・衣服等 50 ポイント、食料品 10 ポイント、その他 14 ポイント悪化となった。昨年は、一昨年の台風災害復旧工事を多く受注できたが、今年の工事予定は少なく、雇用継続のための事業量確保が課題になるとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI0.9 ポイント悪化、採算 DI11.3 ポイント改善、仕入単価 DI5.0 ポイント改善、資金 DI5.5 ポイント改善、従業員 DI2.0 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 18.0 ポイント改善となった。業種別では、自動車 20 ポイント悪化、食料品で横ばい、衣料品 17 ポイント、その他 55 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほぼ横ばい。従業員の不足が続いているとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI2.0 ポイント改善、採算 DI0.9 ポイント悪化、仕入単価 DI2.6 ポイント改善、資金 DI3.3 ポイント改善、従業員 DI5.6 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 7.2 ポイント悪化となった。業種別では、飲食 33 ポイント改善、ホテル・旅館、その他、運送で横ばい、理美容・クリーニング 50 ポイント、整備業 25 ポイント悪化となった。3 月は前年並み、4～6 月も大きな売上変化ない見通し。採算は人件費増（休日増のため）と、重油単価、食材仕入れは引き続き昨年より上昇しており、悪化するかもとの声も寄せられている。</p>